

医療法人
財団 檜扇会
通信59号

心・体・暮らしに寄り添うクリニック

クリニック東京虎ノ門COR

クリニック 名古屋ちくさヒルズ

2026年
1月号

2026年・令和8年 新春のご挨拶

医療法人財団檜扇会

理事長 クリニック東京虎ノ門COR 院長 林 衆治

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、クリニック名古屋ちくさヒルズ並びにクリニック東京虎ノ門CORに格別のご厚情とご信頼を賜り、心より御礼申し上げます。

来る一年が、皆さまにとって健やかで実り多き年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。本年は干支でいうところの午年にあたり、「駿馬のごとく勢いよく前進する年」とされています。

午は古来より、活力・成長・跳躍の象徴とされ、物事を大きく発展させる力をもつといわれます。当院もこの流れに歩調を合わせ、これまで以上に迅速かつ丁寧な医療を提供し、地域の皆さまの健康を力強く支えていけるよう努めてまいります。

昨年は、両クリニックともに予防医療や再生医療、生活習慣ケアなど、医療の枠を広げながら患者さま一人ひとりの「心・体・暮らしに寄り添うクリニック」としての重要性を改めて感じた一年でした。本年はさらに、診療体制の質向上と連携強化を図り、より安心して通院いただけるクリニックづくりを進めてまいります。また、皆さまの声に耳を傾け、快適な院内環境とわかりやすい医療説明を心がけ、信頼される「かかりつけ医」としての役割を一層果たしていく所存です。

午年の勢いを借り、スタッフ一同、これまでの歩みを大切にしつつも、更なる前進を目指して日々研鑽を重ねてまいります。本年も、どうぞ変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

皆さまの健康とご多幸を祈念し、新春のご挨拶とさせていただきます。



クリニック東京虎ノ門COR
院長 林衆治 スタッフ一同



クリニック名古屋ちくさヒルズ
院長 林祐司 スタッフ一同

日本の医療

「これがあるからこそ安心して医療が受けられる」って？

皆さんは「診療ガイドライン」という言葉をご存じですか？

誰もが一度は耳にされたことがあると思いますが

それって何のためにあるのでしょうか？ またどのように作られてどのような内容のものなのでしょうか？ それは、健康に関する重要な課題について、患者や家族と一般市民などの医療利用者と医師や医療スタッフなどの医療を提供する両者の意思決定を支援するために、科学的な根拠(エビデンス ベイスト メディシン:EBM)に基づいて患者さんに適切でしかも標準的な医療を提供できるようにするために作られた文書のことを言います。

どんな内容かと申しますと、一般的には「診療の標準化」(同じ疾患に対して全国どこでも一貫性を持った治療方針)、「エビデンスに基づく医療の推進」(最新の研究や臨床試験の成果を反映させるもの)、「医療の質の向上」(不必要な検査や治療を回避し、患者さんの安全を確保すること)、「医療者の意思決定支援」(特に複雑なケースでの判断の材料として)、「患者さんへの説明支援」(推奨される治療方法や選択肢を患者さんと共有しやすくするため)、と、このような特徴や目的を示した内容になっています。

それでは患者さんにとって、そんな有難い内容がどのように作られるのかと申しますと、それは、作成マニュアルと言うものがあり、それに則って作成されます。

まず、ガイドライン作成にあたってガイドライン作成委員長が対象領域の専門家を集め、会議で診断や治療などで問題となるテーマを決定し、そのテーマに対して推奨文(回答)の草案を作成します。その後、作成委員による会議で推奨文の調整とそのエビデンス(科学的な根拠)の強さと推奨の強さを決めます。

例えば、委員会メンバーの75%以上が投票して、その80%以上が賛成した場合に推奨文が採用となり、もし同意が得られなかった場合は、作成委員会メンバーが結果を持ち寄り、3回まで検討が繰り返されます。

このような過程を踏まえて決められた推奨文などは専門家で構成される評価委員会で最終評価されます。この評価委員会は専門家だけではなく、ときにはその疾患に関係する患者さんが加わることもあります。

こうした評価がされた後、最終的な修正が加えられた診療ガイドラインは、学会の公聴会やインターネットで公開された後に国民からの意見や情報(これをパブリックコメントと言います)が集められて、更なる改訂の必要性が出れば、再度検討がなされた後に正式な「診療ガイドライン」が完成します。このガイドラインは一度作成されたとしても不変のものではなく、検査方法や治療法の新たなエビデンスや医療制度の変化を踏まえて数年(3~5年)毎に継続的な改定がなされるのです。

このように患者さんや医療従事者の為に作られ、それに則って患者さんへの適切な医療が提供されているのです。

私ども「医療法人財団檜扇会」に属する「クリニック名古屋ちくさヒルズ」、「クリニック東京虎ノ門COR」は、このような「診療ガイドライン」に沿って患者さんへの適切な医療サービスを提供しております。

またこれからも常に新しい情報をもとに「心・体・暮らしに寄り添う」医療機関としての使命を全うしてまいります。

これからも体の不調や病気に不安が生じた場合には迷わず、自己判断せず、正確な正しい情報を求めて両クリニックにいつでもご相談してください。

広報紙 「医療法人檜扇会クリニック通信」
発行 医療法人財団檜扇会 クリニック名古屋ちくさヒルズ
〒464-0858 名古屋市千種区千種2-24-2
千種タワーヒルズ1F

ご意見はこちらまで info@clinic-chikusahills.com

編集・発行 医療法人財団檜扇会 クリニック名古屋ちくさヒルズ
編集委員会(原稿責任者 川島和信)

発行日 毎月1日